

2016 年 11 月 18 日

株式会社ロイヤルゲートの株式譲渡について

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する株式会社ロイヤルゲート（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：梅村圭司、以下「ロイヤルゲート」）の全株式について、株式会社日ノ樹（本社：東京都港区、代表取締役会長：石川照樹、以下「日ノ樹」）に譲渡することを決定しましたのでお知らせ致します。

INCJ は 2013 年 10 月、B2B 取引におけるスマートデバイス決済プラットフォームの開発・運営を行う総合 IT ソリューション企業の「ロイヤルゲート」に対し、同社の事業展開を支援するために、成長資金としての投資を決定しました。

INCJ は投資実行後も、顧客候補の紹介や社内の組織体制の拡充など、ハンズオンの支援を行ってきたところ、この度、「日ノ樹」から株式引き受けの申し出がありました。同社は不動産事業に加え、ベンチャー企業への事業支援・誘致も手掛けており、また、現在もロイヤルゲートの株主であることなどから、INCJ はロイヤルゲートの更なる成長のためには、保有する全株式を「日ノ樹」に譲渡することが最適との判断に至りました。

参考）INCJ は、2013 年 10 月に「B2B 決済プラットフォーム “PAYGATE®” を開発・運営する株式会社ロイヤルゲートへの出資を決定」を公表しています。

URL: <http://www.incj.co.jp/PDF/1418030604.01.pdf>

株式会社ロイヤルゲートについて

設立 2007 年 9 月
事業内容 ASP 事業、IT ソリューション事業、IT コンサルティング事業
所在地 東京都港区
代表者 梅村 圭司
URL <http://www.royalgate.co.jp/>

株式会社日ノ樹について

設立 1955 年 4 月
事業内容 不動産の賃貸、宅地建物取引業務 等
所在地 東京都港区
資本金 185 百万円
代表者 石川 照樹
URL <http://www.hi-no-ki.co.jp/>

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

＜本発表資料のお問い合わせ先＞

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1－4－1 丸の内永楽ビルディング 21 階
電 話：03－5218－7202

[別紙]

1. 対象事業会社

株式会社ロイヤルゲート

- ・設 立 : 2007 年 9 月
- ・代表者 : 梅村圭司
- ・所在地 : 東京都港区
- ・事業内容 : ASP 事業、IT ソリューション事業、IT コンサルティング事業

2. 支援決定概要

- ・支援決定金額: 10 億円(上限)
- ・実投資額: 6 億円
- ・共同投資家: みずほキャピタル(株)、(株)NTTドコモ・ベンチャーズ、三菱 UFJ キャピタル(株)等
- ・株式保有割合: 25.8%
- ・支援決定公表日: 2013 年 10 月
<https://www.incj.co.jp/news/assets/1418030604.01.pdf>
- ・投資ストラクチャー図:
<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1418030919.02.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

ロイヤルゲートは、モバイル向け決済端末および決済ソリューションを提供するベンチャー企業。INCJ は、あらゆる産業の基盤である決済ビジネスの整備を通じて周辺事業の活性化が期待できること、また、簡便な決済手段を育成することによって、電子マネー等の先進的な決済ビジネスのアジア地域への海外展開が期待できることから、2013 年 10 月、ロイヤルゲートへの 10 億円を上限とする支援を決定し、初期投資として 6 億円の投資を実行しました。

(2) 事業の進捗

初期投資の大きな決済サービス事業開始にあたり、INCJ および INCJ が呼び水となった民間の他事業者株主などからの資金調達で、端末やサービス開発の成長を促進しました。また、決済ビジネスにおいてワンストップでクレジットカード(磁気&IC)、フェリカ、銀聯などの決済手段を提供するサービスを業界標準(PDI-DSS)に準拠したセキュリティ水準を以って提供することができました。

(3) Exit の経緯・内容

INCJ は、投資実行後も、顧客候補の紹介や組織体制の拡充などハンズオンの支援を行ってきましたが、端末の販売台数に関するマイルストーン投資の条件を満たすことが難しく、その事業の継続について関係各社と協議を継続していたところ、「日ノ樹」から株式譲り受けの申し出がありました。同社

は、不動産事業に加え、ベンチャー企業への事業支援・誘致も手掛けており、また、ロイヤルゲートの株主でもあることなどから、INCJ は、ロイヤルゲートの事業の継続、さらなる成長のためには、「日ノ樹」に経営権を譲渡するのが最適と判断し、保有する全株式を同社に譲渡することとなりました。

4. 主務大臣(経済産業大臣)の意見

ベンチャー企業等への積極的な支援は、今後も我が国の産業競争力の強化において重要である。本案件の課題を分析し、その反省に立って引き続きベンチャー企業等への支援を行うとともに、支援案件全体としての収益性の確保に努められたい。